

# 震災復興・将来に備えて私たちができること ～博物館・図書館・文書館・公民館の支援活動を通して～



## 【プログラム】

### ▼基調講演 13:00～13:20

江草 由佳 (国立教育政策研究所教育研究情報センター)

「saveMLAK:文化・教育施設の間接支援プロジェクト-これまでとこれから-」

saveMLAK (セーブムラック) とは何か、どんな人が参画しているか、これまでどんな活動を行ってきたか、saveMLAK の Web サイトの内容について概略を説明する。また、今後どのようなことができるかについても述べる。

### ▼パネルディスカッション 13:20～14:30

#### パネリスト

江草 由佳 えぐさ・ゆか (国立教育政策研究所教育研究情報センター)

情報検索、電子図書館、情報探索行動を専門とし、附属図書館担当の研究員。saveMLAK では、システムチームリーダーとしてシステム全般のマネージをしつつ、現地視察、wiki 入力支援・ファシリテートなども行っている。

細川 健裕 ほそかわ・たけひろ (北海道開拓の村)

北海道教育大学岩見沢校非常勤講師。岩手県大船渡市出身。2003年より現職。企画に『平成の「生れ出づる悩み」2010』(2010)、「大正百年展」(2011)など。博物館教育、資料の管理・保全等を担当するほか、北海道「雪」プロジェクトなど隣接分野の専門家・実践者による連携に取り組んでいる。

阿児 雄之 あこ・たかゆき (東京工業大学博物館)

大学博物館活動の中で、理工学技術を利用した文化財の研究・保護・活用を模索している。saveMLAK には統合前の SAVE THE MUSEUM の頃から携わり、博物館情報の特殊性に振り回され続けている。

上田 幸夫 うえだ・ゆきお (日本体育大学)

体育大学で地域スポーツ関連を志向する学生に、生涯学習講義を行っている。公民館の研究を続けているなかで、saveMLAK への参入は、公民館の新しい可能性を引き出すことに繋がるものと期待している。

#### 司会

丸山 高弘 まるやま・たかひろ (山中湖情報創造館)

まちの目次、地域の索引をテーマとしてサイト構築を通じデジタルアーカイブをミッションとする NPO 法人へ参加。2004年から日本初の指定管理者制度による山中湖情報創造館(図書館)にてその次の図書館づくりを目指す。

### ▼まとめ 14:15～14:30